

竹山真平さんが見事優勝 全国大会への切符を掴む

阿久根市の三笠柔道スポーツ少年団に所属する、竹山真平さん（長島中学校2年）が、7月25日、26日に開催された県中学校体育大会柔道競技の男子個人81kg級で見事に優勝し、8月に開催される九州大会・全国大会出場の切符を手に入れました。

竹山さんは準決勝で大会第1シードの選手と対戦。「本当に自分が投げたのか感覚が無かった」と、見事な内股1本を取り、その勢いそのまま優勝を果たしました。

全国大会へ向け「相手は3年生ばかりで、力の差はあるが、ポイントを取り1勝を目指したい」と抱負を述べた竹山さんは、8月5日からの九州中学校柔道競技大会（宮崎市）、8月17日からの全国中学校柔道大会新潟大会（新潟県上越市）へ出場します。



↑県大会優勝の賞状を手にする竹山真平さん

ワクワクドキドキおもしろ科学体験 科学の楽しさを味わって

「ワクワクドキドキおもしろ科学体験@長島」が7月20日は町開発総合センターで、21日は町文化ホールで2日間に渡り開催されました。

これは、地域おこし協力隊の丸山啓志さんと、丸山さんの所属する京都大学理学部の先生や大学院生が講師となり、子どもたちと一緒に手を動かして体験することで科学の面白さを味わってもらうために開催されたものです。

「光るツリーづくり」や「化石レプリカづくり」など4つのブースを設け、終業式を迎えたばかりの子どもたちに、夏休みの自由研究について考えるきっかけづくりとなっていました。



↑化石レプリカづくりを楽しむ子どもたち

第11回自治公民館対抗バレーボール大会 矢堂自治公民館が2連覇！

スポーツを通じて、町民の健康づくりと健全な自治公民館づくりを目的に、7月4日から8日にかけて第11回自治公民館対抗バレーボール大会が開催されました。

この大会には、24自治公民館から26チームが参加。A・Bランク別で予選を行い、各ランクの上位で決勝大会が行われました。

各公民館の白熱した試合の結果、Aランクは矢堂チームが連覇し、Bランクは菅牟田チームが優勝しました。以下、大会の結果は次のとおりです。

- Aランク 【優勝】 矢堂 【2位】 浦底A
【3位】 薄井A・山中
Bランク 【優勝】 菅牟田 【2位】 宮ノ浦
【3位】 藤之元・山寺



↑Aランク優勝の矢堂チーム

ものづくりマイスター体験教室 ものづくりの魅力を感じて

7月6日、鷹巣中学校（橋野博文校長）で、厚生労働省の「ものづくりマイスター制度」を活用した、ものづくり体験教室が行われました。

この日は、同校の1年生46人が受講。県左官業協同組合のマイスター5人が講師となった鏝絵模様製作と、鹿児島建築工友会のマイスター7人が講師として本立ての製作の2グループに分かれて、ものづくりを楽しみました。

本立て製作に参加した濱真治さんは「ノコギリで斜めに切るのが難しかったが、きれいに作り上げることができた」と完成した本立てを手に満足げでした。



↑マイスターに教えてもらいながら製作する生徒ら

「長島大陸じゃがじゃがジム」 オープン目前に記念講演

地域おこし協力隊として活動する鬼氣悟士さんと益田菜央子さんが、町の医療費削減、健康増進をテーマとして「長島大陸じゃがじゃがジム」を7月25日に開設しました。これを記念して、SAWAKI GYMの澤木一貴先生を招いての記念講演「姿勢が良くなり、足が速くなる体幹トレーニング」が7月20日からの2日間、指江庁舎大ホールと町開発総合センターで行われました。

参加した小学生と保護者たちは約1時間のトレーニングを経て「体が柔らかくなった！」などと体の変化に驚き喜んでいました。

「長島大陸じゃがじゃがジム」は、鹿児島相互信用金庫長島支店の2階会議室を拠点に、個人の健康状況に応じて、改善プログラムを準備し、本町の町民の皆さんへ健康サービスを提供します。

「社会を明るくする運動」伝達式 「おかえり」のチカラで、支え合う社会へ

毎年7月は、「社会を明るくする運動」強化月間です。この運動の啓発を図ろうと7月1日、役場で伝達式がありました。

この日は、川添町長へ出水保護区保護司会の長島支部保護司の蒔元秀士さんが内閣総理大臣から、同支部保護司の柏木利之さんは県知事からの社会を明るくする運動のメッセージ伝達を行いました。

蒔元さんは「犯罪や非行を防止し、過ちを犯した人たちの立ち直りを理解し支える明るい地域づくりの推進をお願いしたい」と伝達。これを受け、川添町長は「町として、これからも明るい社会づくりにまい進していきたい」とあいさつしました。



↑町長へ伝達文を手渡す蒔元さん



↑澤木先生の話聞きながら体を動かす参加者ら